

第4章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

沿線の地域特性に関して、入手可能な最新の文献その他の資料により把握した結果は、以下に示すとおりである。静岡県内における対象事業実施区域を含む周辺市は、静岡市である。

4-1 地域特性の概要

静岡県は、本州の中央部に位置し、北は山梨県と長野県、東は神奈川県、西は愛知県に接している。また、南には駿河湾があり、県東部に位置する伊豆半島の東には相模湾が広がっている。一級河川としては、釜無川本谷を源として山梨県甲府盆地を南に流れ笛吹川と合流した後、伊豆半島西側で駿河湾に注ぐ富士川、南アルプスを源として県中央部を北から南に流れる大井川、諏訪湖を源として長野県を通り、県西部を北から南に流れ遠州灘に注ぐ天竜川、静岡市と山梨県（早川町）の境にある大谷嶺を源として静岡市内を南に流れ駿河湾に注ぐ安倍川等がある。その他、県中央部には二級河川の巴川、興津川、由比川等が流れている。

地形は、南側には遠州灘、駿河湾、相模湾に沿った約500kmの海岸線が続き、北部には標高3,000m級の山々を有する山岳地帯が連なり、河口部には河川が形成した肥沃な平野が広がっている。また、西部の愛知県境付近には浜名湖がありバラエティーに富んだ自然となっている。

県内総面積は、約7,781km²であり、このうち約64%が森林、約8%が宅地、約12%が農用地、その他約16%となっている。

静岡県の気候は、全国的に見ると温暖な気候で、冬季は乾燥して晴天が多く、平野部では降雪はあまり見られない。海岸に近い地域の海洋性気候と、標高の高い内陸台地や山間部の内陸性気候とに分かれており、伊豆半島や富士山麓、大井川上流域では、県内の他の地域に比べて雨が多い。また、大井川上流域では冬季に低温となり降雪も多くなっている。静岡地方気象台の過去10年間の観測によると、年平均気温は約17℃、月別には約7℃～約27℃で変化し、8月が最も気温が高く、1月が最も気温が低くなっている。年間降水量は約2,500mmで、国内の年平均降水量と比べて多くなっている。月別の降水量は7月が最も多く、次いで6月、8月となっている。一方、降水量が最も少ないのは1月で、次いで12月、2月となっている。

人口は、平成25年4月現在、約3,717千人で、前年と比較すると約0.6%減少している。市町村別に見ると浜松市が約793千人で最も多く、次いで静岡市が約710千人、富士市が約252千人となっており、これら3市で県内人口の約5割を占めている。なお、浜松市、静岡市の2市は政令指定都市となっている。

注1. 対象事業実施区域及びその周囲：評価書5万分の1図面の範囲内で、対象事業実施区域に掛かる関係市が表示されている範囲。

注2. 対象事業実施区域を含む周辺市：対象事業実施区域で示されている区域が掛かる関係市区町村の全域。

産業別の就業者数は、第3次産業が最も多く約61%、第2次産業が約33%、第1次産業が約4%となっている。第2次産業は全国平均に比べて就業者の割合が多く、第3次産業は全国平均に比べて少なくなっている。第1次産業は全国と同程度となっている。

静岡県内には、富士箱根伊豆、南アルプスの2つの国立公園、天竜奥三河の1つの国定公園のほか、奥大井、日本平・三保の松原、御前崎遠州灘、浜名湖の4つの県立自然公園が存在する。また、自然環境保全法に基づき大井川源流部が原生自然環境保全地域（1地域約1,115ha）に指定されているほか、静岡県自然環境保全条例に基づき7地域約5,186haの自然環境保全地域が指定されている。その他、45地区約11,676haの風致地区、1地区約7haの特別緑地保全地区が指定されている。

また、平成22年10月に公表された環境省による「国立・国定公園総点検事業」において、現在の国立公園区域と同等の資質を有する一体性のある地域として、南アルプス国立公園の周辺が拡張候補地に抽出されている。